

INTER COOLER **Standard Edition** **SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

GRB
IMPREZA STI

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：SUBARU IMPREZA STI
- 型 式：GRB
- エンジン：EJ20
- 年 式：2007/10～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Standard Edition
- 製品番号：23117

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL: 0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX: 0422-60-0066

はじめに確認してください！

- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡ください。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意してください。

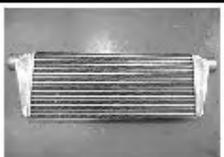
重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 純正のフォグランプは年式/形状により装着不可となる場合があります。予めご了承ください。
- 本製品の装着には弊社SUSPOWER AIR CLEANERが必要です。
- 本製品の装着にはバッテリーサイズの変更が必要となります。別途40B19Lサイズのバッテリーをご用意ください。（ターミナルの変更はありません）
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始してください。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行ってください。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管してください。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行してください。

取り付け作業の方へ注意

- 品質には万全を期しております、KIT内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行ってください。

■パーツリスト■

インタクーラーASSY  1	インテークパイプNo.1  1	インテークパイプNo.2  1	インテークパイプNo.3  1
インテークパイプNo.4  1	インテークパイプNo.5  1	インテークパイプNo.6  1	V/Cコアステー (アッパー)  1
V/Cコアステー (ロア)  2	パイピングステーNo.1  1	パイピングステーNo.2  1	エアホースステーNo.1  1
エアホースステーNo.2  1	ブローパイホースステーNo.1  1	ブローパイホースステーNo.2  1	アルミカラーφ6-φ20  1
アルミカラーφ8-φ20  2	バッテリーフレーム  1	バッテリー端子アダプター  1	エアホース用エルボ90°  1
ガasketブローオフアタッチメント  1	ブローオフアタッチメント  1	クランプ φ70用  12	クランプ φ60用  2
クランプ φ6用  1	シリコンホース φ60  1	シリコンホース φ70  6	シリコンホースφ6 1000mm  1

■パーツリスト■

ボルト M6×8		ボルト M8×35		ボルト M8×12		ボルト M6×20	
	3		2		9		1
ボルト M6×25		キャップボルト M8×35		キャップボルト M6×14		ワッシャー φ6-φ20	
	1		2		2		1
ナット M8		ナット M6		タイラップ 200mm			
	4		5		7		

□組み付け作業手順□

■作業の方へお願い！

- ・作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様に返却してください。

■作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検してください。

- ・純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正の新品に交換してください。
- ・再使用する純正のガスケット類も、十分に点検して、不具合のある場合は純正の新品に交換してください。

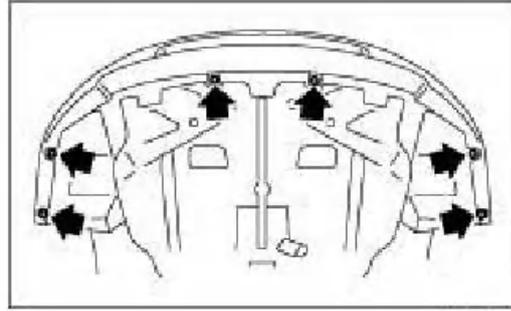
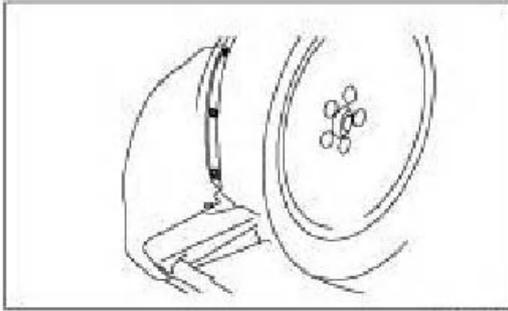
警告 作業中の怪我・火傷

- ・装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

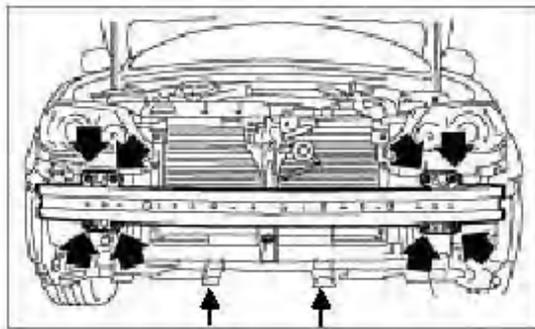
■ ノーマルパーツの取り外し ■

1. エンジンルーム内のエアクリーナーインテークダクトを取り外します。
2. バッテリーを車両より取り外します。
3. ヘッドランプウォッシャーを取り外します。
ヘッドランプウォッシャーノズルを引き出し、ツメ 2 箇所を取り外してください。
4. フロントバンパーを取り外します。
(フォグランプのコネクターがあります。)

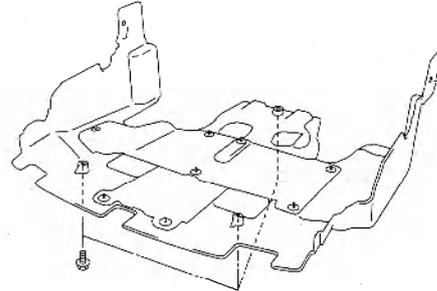


グリル：クリップ上部 4 箇所
 バンパーサイド：クリップ左右各 3 箇所
 バンパー下部：クリップ 6 箇所
 (バンパーとグリルは分割せず、一緒に取り外してください。)

5. バンパービーム・アンダーカバーを取り外します。
(インタークーラーコア取り付けのため、フレームとバンパーを固定しているステーも取り外します。 左図下部矢印)

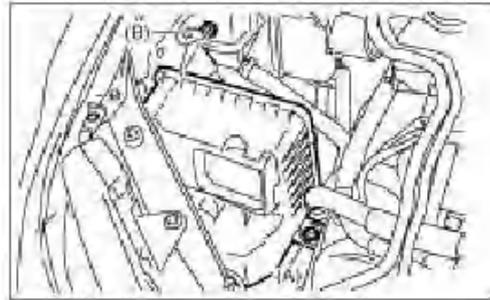
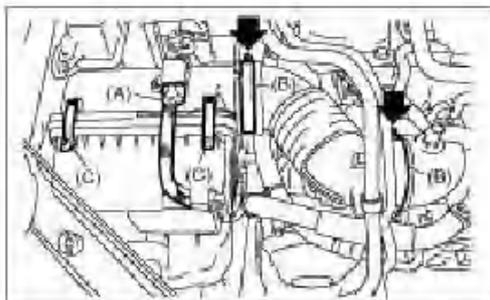


バンパービーム

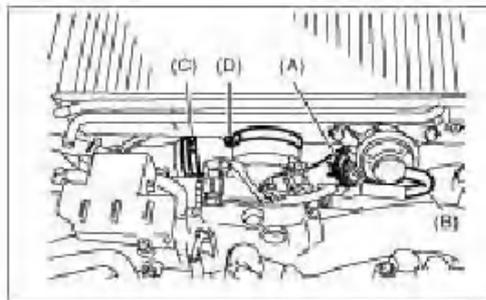
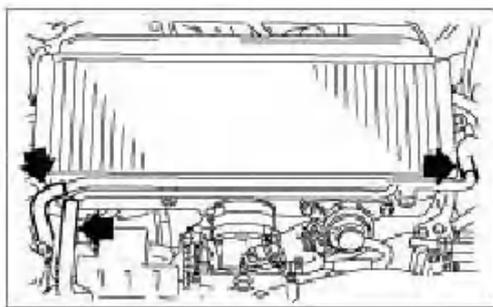


アンダーカバー

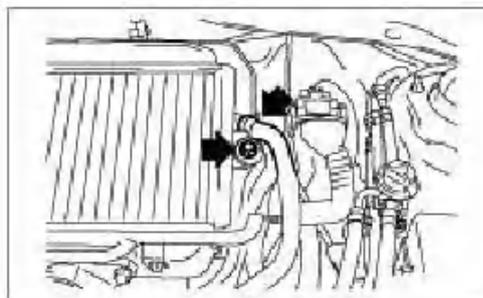
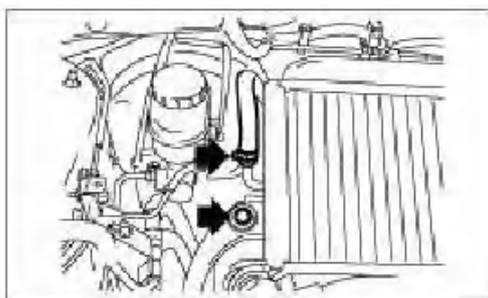
6. 純正エアクリーナーケース、レゾネーターを取り外します。
 エアフロセンサーコネクターを取り外し、インテークダクトを接続しているクランプ 2 箇所を緩めます。
 エアクリーナーケースのクリップをはずし、エアクリーナーケース(リア)とエアインテークブーツを取り外します。
 エアクリーナーケース(フロント)とボディと固定しているボルト・ナットを取り外し、エアクリーナーケース(フロント)とレゾネーターを取り外します。



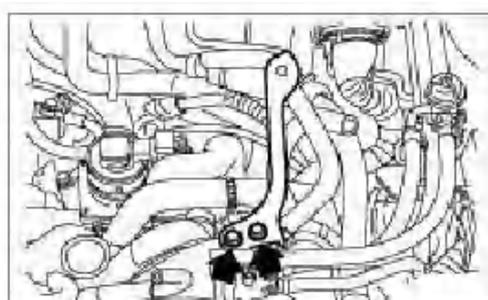
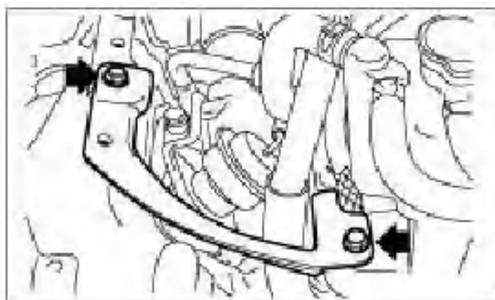
7. 純正インタークーラー、インタークーラーステーを取り外します。
 PCV ホースをパイプから切り離します。
 エアバイパスホース(右図 A)とバキュームホース(右図 B)を切り離します。
 ターボチャージャーとインタークーラーダクトを接続しているクランプと
 スロットルボディとインタークーラーを接続しているクランプを緩めます。



ブレーキブースターバキュームパイプからブースターバキュームホースを切り離し、
 インタークーラーをインタークーラーステーに固定しているボルトを取り外します。



インタークーラーステー(左右)を取り外します。

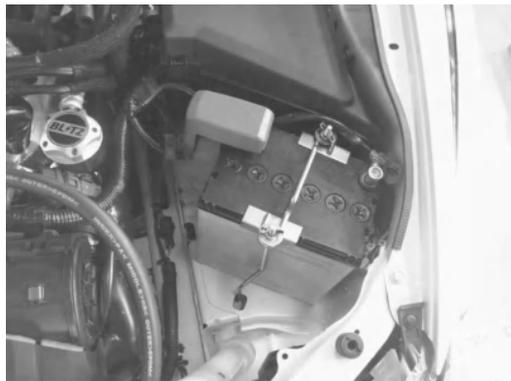


注意

PCV ホース、ブースターバキュームホース、バイパスバルブ(パッキン含む)、
 インテークダクト、クランプなどは純正インタークーラーから取り外し、
 インタークーラーステーを固定しているボルトも
 KIT 取り付け時にも使用するので、紛失しないように注意してください。

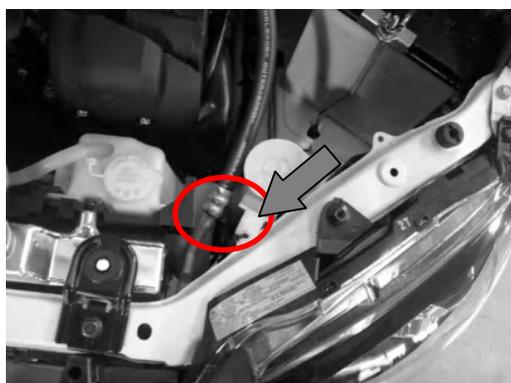
■インタークーラーキット取り付け■

1. バッテリー取り付け



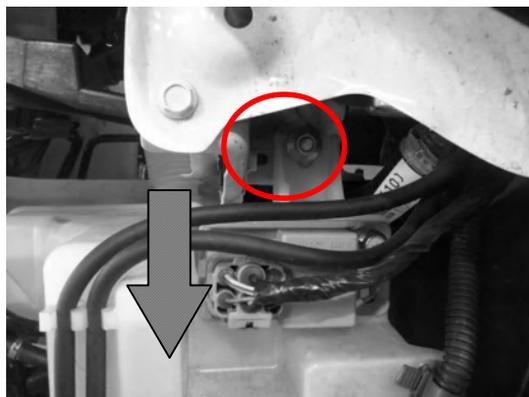
- ① 別途ご用意いただいたバッテリーにキット付属のバッテリー端子アダプターをハンマーなどでたたいて圧入してください。
(プラス側・・・アダプター大)
(マイナス側・・・アダプター小)
- ② 純正のバッテリートレイはパイピングに干渉する部分を切除して使用、もしくはトレイを取り外した状態でバッテリーを乗せてください。
- ③ キット付属のバッテリーフレームを使用してバッテリーを固定してください。

2. ウォッシャータンクノズル移設



- ① ウォッシャータンクノズルを固定しているクリップを取り外してください。
- ② ノズルを図中の○の位置にタイラップを使用して固定してください。

3. ウォッシャータンク移設

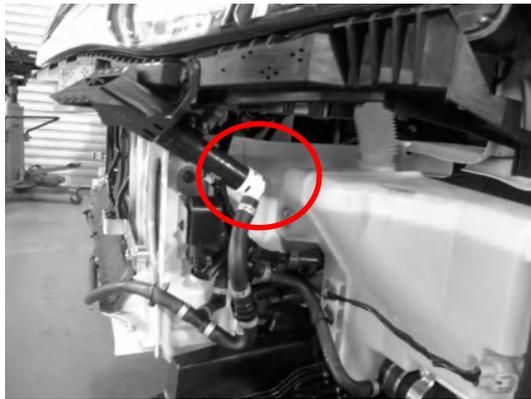


- ① インタークーラーパイピングとウォッシャータンクが干渉する可能性がありますので、ウォッシャータンクを固定しているボルト、ナットの穴を長穴加工して、下方向にずらしてください。
弊社取り付け時は約 10mm 下方向にずらしました。

4. ヘッドランプウォッシャーホース向き変更



運転席側加工後



助手席側加工後

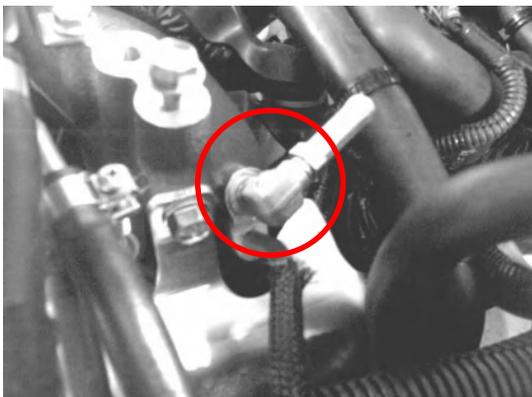
- ① インタークーラーパイピングとヘッドランプウォッシャーホースが干渉するのでピックツールなどを使用して上図のように向きを変更してください。
- ② ウォッシャーホースは向きを変えた後タイラップ（次項目でも使用するので、全数使用しないでください）を使用してインタークーラーASSYなどの取り付けの邪魔にならないように固定してください。

5. ホーン移設



- ① ホーン固定しているステアを取り外し、ホーンを純正ステアから取り外してください。
- ② 取り外した純正ホーンがついていたステアのボルト（M6）とワッシャーφ6-φ20を使用してホーンを右上図の位置に移動してください。

6. エアホース用エルボ取り付け



- ① インテークマニホールドに取り付けられているブースターバキュームホース用のニップルを取り外します。
- ② 取り外したところにエアホース用エルボ90°を取り付け、左図のように取り外したニップルを取り付けてください。
※シールテープなどを使用し、エア漏れのないように気をつけてください。

7. インタークーラーコアの取り付け

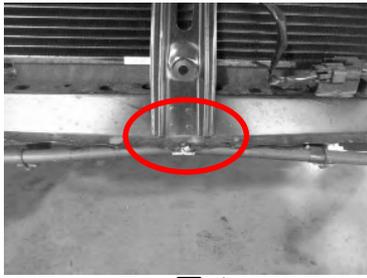


図 1

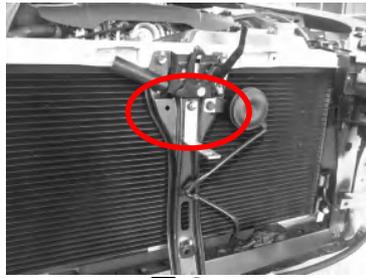


図 2

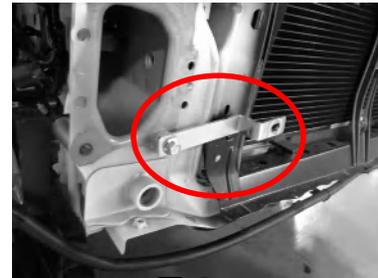


図 3

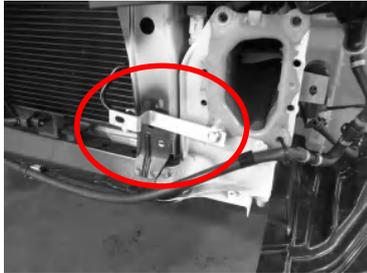


図 4



図 5

- ① インタークーラーの取り付けにあたって、図 1 の部分がコアに干渉するようであれば、あらかじめ切断、曲げなどの加工を行ってください。
- ② 図 2 のボルトをはずし、コアステー（アッパー）を共締めしてください。
- ③ 図 3・4 の部分にコアステー（ロア）をカラー（ $\phi 8-\phi 20$ ）とボルト（M8×35）を使用して取り付けてください。
- ④ ボルト（M8×12）×3を使用して、インタークーラーASSYを取り付け（仮止め）をおこなってください。（図 5 参照）

8. インテークパイプの取り付け

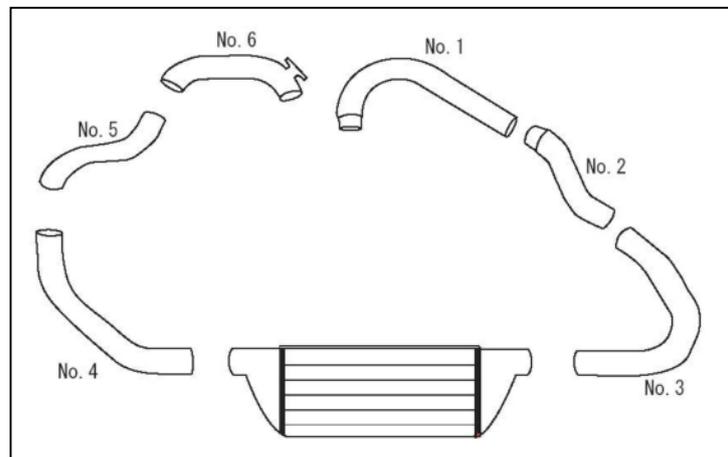
付属のパイプ No.1~No.6、クランプ及びシリコンホースを使用して、図のように配管して下さい。

※パイプには No.と方向（ターボ→スロットル）が記されたステッカーが貼ってあります。

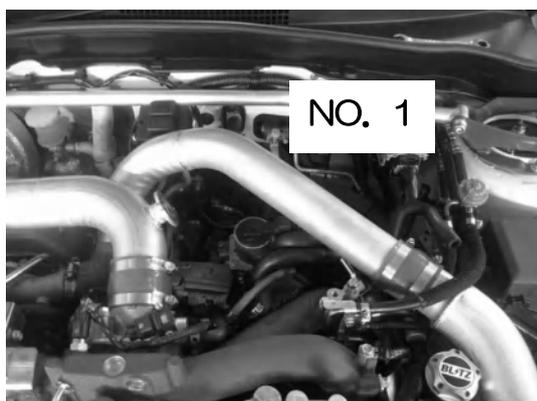
※各パイプがボディ等に干渉しないよう、調整して下さい。

※パイプ及びパイピングステーは仮止めで取り付けを行い、各部のクリアランスを確認して下さい。

※ホコリや異物が入らないように気を付けて下さい。

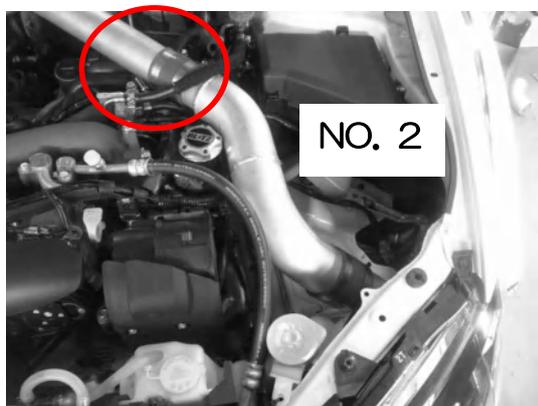


NO. 1&NO. 6



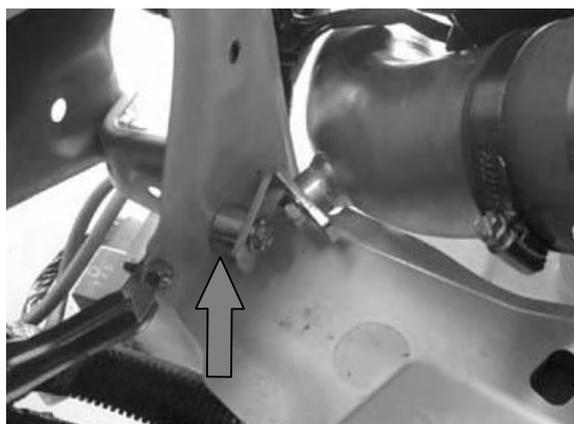
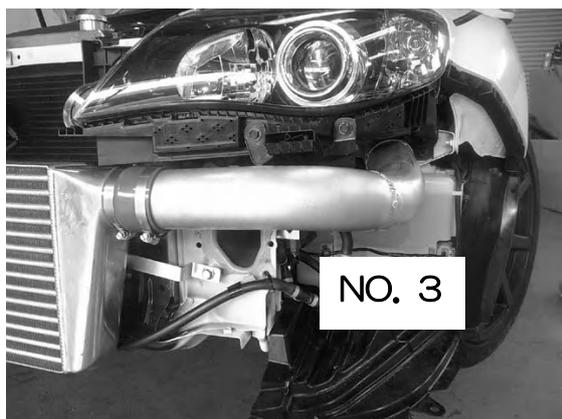
- ① NO. 1 のパイプを取り付けてください。
- ② NO. 6 のパイプを取り付けてください。

NO. 2



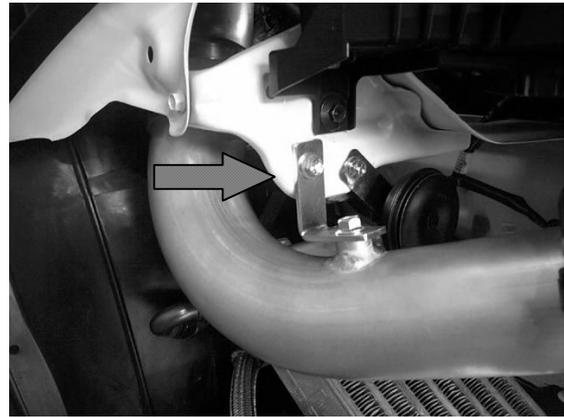
- ① パイプ NO. 2 のパイプを取り付けてください。
- ② パイプ NO. 1 と NO. 2 のパイプは図中○印の位置を通します。

NO. 3



- ① NO. 3 のパイプを取り付ける。
パイプをヘッドランプの後ろに通す際は、下から通すと通しやすくなります。
ヘッドライト下ステー類とのクリアランスに注意して下さい。
ヘッドライトについているハーネス固定用のツメが干渉するときは切除して下さい。
- ② パイピングステー NO. 1 を取り付ける。
↑側にボルト (M6×25) とナット (M6) とカラー (M6) を使用し、
もう片側をボルト (M8×12) 使用してパイプを仮止めして下さい。

NO. 4



- ① NO. 4 のパイプを取り付ける。
ヘッドライト下ステー類とのクリアランスに注意して下さい。
- ② パイピングステーNO. 2 を取り付ける。
→の位置にボルト (M6×20) を使用して固定してください。
もう片側をボルト (M8×12) を使用してパイプを仮止めしてください。

NO. 5

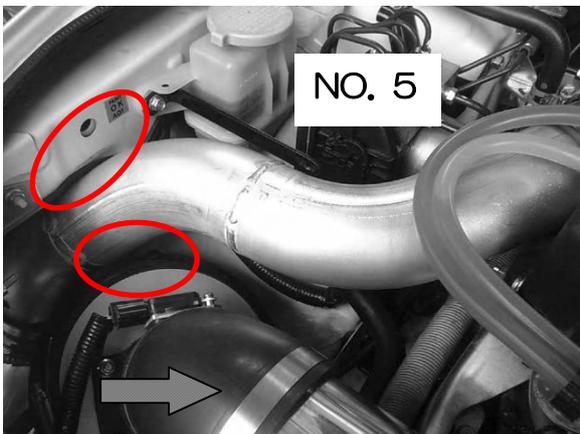


図 1



図 2

- ① NO. 5 のパイプを取り付ける。
- ② 図 2 のO部分のクリアランスに注意して下さい。
O部分のクリアランスが十分に確保できない場合
 - ・切除もしくは緩衝材を巻くなどして干渉を防いでください。
 - ・SUS POWER の取り付けは、エルボホースと→パイプをSUS POWER 取説の指定量よりも多めに差し込んで、全長を若干短くし、パイプとの干渉を防いでください。

9. インテークパイプ、コアの本付け

KIT の取り付けが完了したら、クリアランスを確認・調整しながら本付けを行ってください。

NO. 1パイプ取り付けの際、NO. 2パイプとの距離が開いてしまい取り付けが困難になる場合があります。

そのときは、ターボチャージャーに取り付けられている赤いエルボホースを90°回転させると取り付けが容易になる場合があります。

10. PCVホースの取り付け

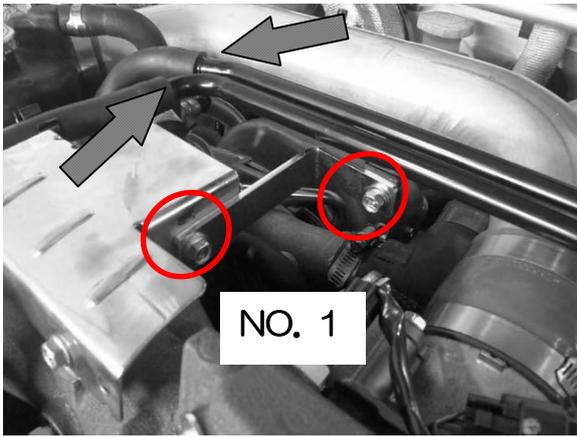


図 1

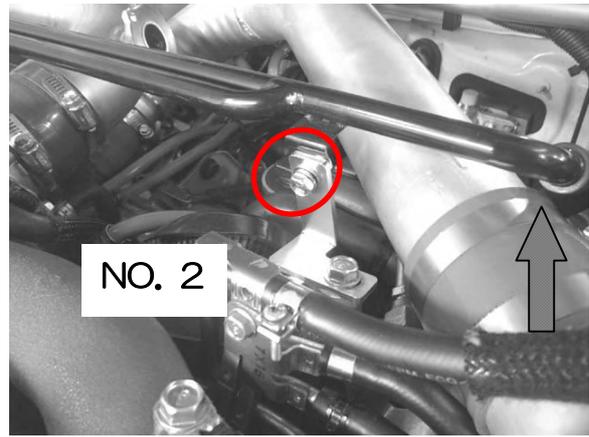


図 2

- ① ブローバイホースステア No. 1 を取り付けます。
- ② 純正ソレノイドバルブを固定しているM6ボルト(図1左側)を取り外し、キット付属のボルト(M6×8)を使用してステアをはさんで固定してください。
- ③ PCVホースはボルト(M6×8)、ナット(M6)を使用して固定してください。
- ④ 助手席側は純正インタークーラーステアを固定していたボルト(M8)を使用してブローバイホースステア No. 2 を取り付けます。
- ⑤ PCVホースはボルト(M6×8)、ナット(M6)を使用して固定してください。
- ⑥ 図1、2の↑部分をホースとパイプをきっちりと差し込んでください。

11. ブローオフバルブ(純正エアバイパスバルブ)取り付け

純正エアバイパスバルブ取り付けの場合



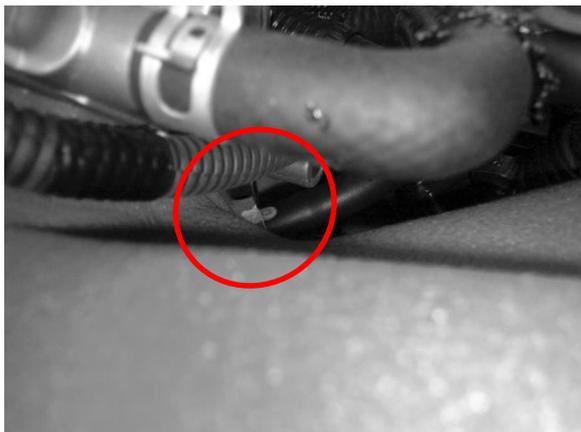
図 1



図 2

- ① キット付属のガスケットブローオフアタッチメント、ブローオフアタッチメントをキャップボルト(M6×14)×2、ナット(M6)×2を使用して固定してください。
- ② 純正エアバイパスバルブを取り外した純正パッキンを使用して、キャップボルト(M8×35)×2、ナット(M8)×2を使用して固定してください。(図1,2参照)
- ③ 純正エアバイパスバルブ上部に取り付けられていたホースのインテークマニホールド側も取り外し、キット付属のシリコンホースを取り付けタイラップで固定してください。次ページ図参照

- ④ シリコンホースの長さを調節して、純正バイパスバルブ上部に差し込み、クランプφ6用で固定します。



弊社SUPER SOUND BLOW OFF VALVE DDを取り付けの場合

- ① キット付属のガスケットブローオフアタッチメント、キャップボルト（M6×14）×2を使用して固定してください。
- ② 純正エアバイパスバルブ上部に取り付けられていたホースのインテークマニホールド側も取り外し、キット付属のシリコンホースを取り付けタイラップで固定してください。
下図参照
- ③ 長さを調節して、ブローオフバルブ上部に差し込み、クランプφ6用で固定します。

12. ブースターバキュームホース取り付け



- ① 純正インタークーラーについているブースターバキュームホースを取り外してください。
- ② エアホースステーNo. 1（短）とインテークパイプNO. 1をボルト（M8×12）で運転席側に固定します。
（次ページ図1参照）
- ③ エアホースステーNo. 2（長）とインテークパイプNO. 1をボルト（M8×12）で助手席側に固定します。
（次ページ図2参照）
- ④ ブースターバキュームホースについているステーを回転させて、先ほど取り付けしたステーとボルト（M8×12）×2、ナット（M8）を使用して、固定します。
- ⑤ ブレーキブースター側、6. で取り付けしたインテークマニホールド側ニップルにホースを取り付けます。
※ブースター側純正ホース内にはオリフィスがついていますので、向きに注意してください。



図1

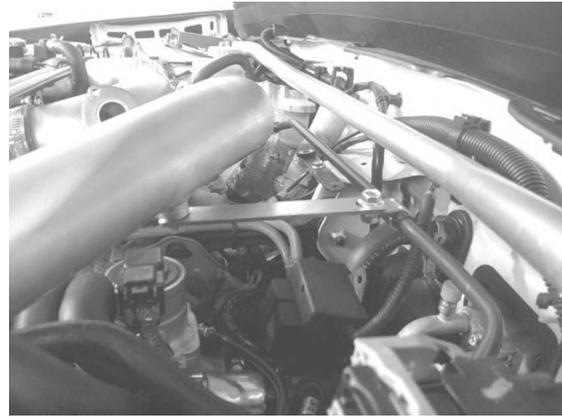
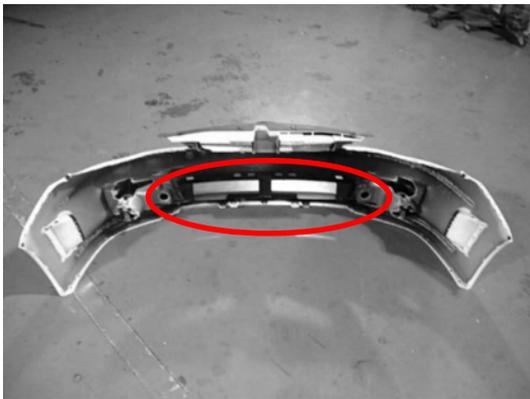


図2

13. バンパーの加工



加工前



加工後

フロントバンパーフェイスがインタークーラーASSYやインテークパイプに干渉しないように、フロントバンパーフェイスの干渉する部分をカット加工してください。図中○部が干渉する部位です。

※加工時は、保護メガネ・マスク・軍手などを着用して、安全に作業してください。

取り付け完成図



■エンジンの始動にあたって■

- 必ず換気のよい場所で行ってください。
- コーナリングランプが点灯するか確認してください。
- 各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認してください。
- インタークーラーの配管を間違えていないか確認してください。また、配管が確実に接続されているか、確認してください。
- 配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意してください。可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。

以上でKITの取り付けは終了です。

- テスト走行を行い、各部に不具合がないかどうか、確認してください。もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行ってください。

BLATZ